

Ambitious

アンビシャス100人の仕事

2024年春夏号

Vol.22

高校生の進路と向き合う

公務員

国際・物流

IT・メディア・モノづくり

くらし・生活

医療・生命

キャリア教育マガジン

30人の
先輩が登場

「好き」「楽しい」が、進路選びにつながる理由。

日本の平和と未来を守る仕事

公共交通システムの安心と安全を支える

国際社会で日本経済の発展を担う

新たなテクノロジーで仕事を効率化

航空機のエネルギー効率を高める研究開発

笑顔と探究心で患者を支える

表紙撮影協力：一橋大学(2023年撮影)

ワークシート

ワーク

1

10分
ワークの目安

先輩たちの
体験談を見よう
本編から
将来のヒントを
見つける

本誌「アンビシャス」で印象に残った先輩は誰？

2人書き出して
みよう!!

1 職業	No.	先輩名	先輩
この先輩のココがすごい!			
.....			
.....			

2 職業	No.	先輩名	先輩
この先輩のココがすごい!			
.....			
.....			

ワーク

2

自分の情報を整理する
自分の将来に興味を持とう!!

15分
ワークの目安

記入のPOINT

STEP1: あなたの夢や目標 (現時点の進学先や職業のビジョン)

.....

.....

STEP1は
あなたの現時点での希望を記入しよう!

- 「将来やりたいことや学びたいことが
ぼんやりしている人」
→どんな学生生活を送りたいか書こう!
- 「学びたいことがあるから進学したい人」
→学部・学科名を書こう!
- 「将来やりたいことのために進学したい人」
→将来の仕事・職業を書こう!

STEP2: なぜなら (上の「夢や目標」につながったと思う理由やきっかけ)

.....

STEP2は

STEP1の「夢や目標」の理由を
書こう! ヒントになった出来事や
きっかけとは?

STEP3: だから (実現するために必要なこと)

-
-
-

STEP3は

STEP1の「夢や目標」を実現する
ために必要な資格や進路などの
条件を箇条書きにしよう!

ワーク
SP

特別授業用!!

年 組 番
氏名

STEP1 先輩の話しをまとめてみよう!

1 具体的な職業名:

職業の特徴:

2 大学選びのポイント:

3 仕事内容:

STEP2 気になるメモ・感想・まとめ

1 この先輩への疑問・質問:

2 気づき・感想:

働くってどういうこと? どんな「働く」がある? 自分にできることって何?

社会人の出前授業を募集します

総合学習の授業を使ってアクティブラーニング

アンビシャスの授業は都立校卒業生がメイン

都立高校に「都内で活躍している先輩」を派遣して、「なぜ高校で勉強をするのか」「将来に繋がる大切な時期」をテーマに授業時間を使い出前授業を実施します。



応募
方法

社会人講師を呼んだ特別授業をご希望の先生は

①学校名 ②ご氏名 ③連絡先 を info@amb100.com まで

自分の興味・関心のあるものをとことん究めたい

外務省

経済局国際経済課所属
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/>

駒澤大学

法学部 政治学科 卒業

小林 悠馬さん



外務省学生向け
Twitter



一步踏みだそう!!

大学時代のバックパッカーの経験が将来の夢に繋がる

大学時代、私はバックパッカーとして様々な地域を訪れました。米国ではグランドキャニオンのような壮大な自然を見る一方、スラム街で貧富の格差を感じ、カンボジアでは古代遺跡と地雷被害などの内戦の爪痕という歴史の陽と影を知りました。また国内では広島で原爆被害者の方に直接お話を伺う機会もありました。旅を通し、価値観の異なる多くの人と出会い、その土地にある問題に直面でき、人生においてとても貴重な経験ができました。特に私自身の将来を考えるきっかけとなった出来事は、訪れる国々で出会った人々から、日本についてたくさん質問されたことです。私は日本人であるにもかかわらず、質問に答えられませんでした。帰国後、日本の歴史など学び直し、そこで日本という国は先人たちのとてつもない努力の基に築き上げられた素晴らしい国であることを知りました。各地で見た問題及び日本の先人達の軌跡から、私も将来は何らかの形で世界と母国の発展に貢

献したいと思うようになったことが現職を目指すきっかけとなりました。

自分のやりたいことが忘れられない、追求したい。

大学卒業後は民間企業に就職しました。大学当時、外務省という仕事への興味が頭の片隅にありましたが、私とは無縁な場所だと思っていました。しかし、社会人として働きながらも、大学で受講した国際関係の講義の楽しさや旅での経験から、日本と世界の発展に貢献できる仕事がしたいという気持ちが捨てきれずにいました。そして、自分のやりたいことを叶えられる仕事はやはり外務省ではないかと思いました。外務省への就職は簡単ではないことを承知のうえ、転職に挑戦しました。

幅広い政治経済の知識をもって臨む仕事

私は、経済局国際経済課に所属し、対EU及び対英国との経済連携協定(条約)の実施を担当しています。具体的には、国境を超えるモノ・サービスのルールを定めた後に、その約束がきちんと守られているか、

改善すべき点はないか等を相手側と確認し、議論しています。交渉の中で、日本と相手側の双方が納得できる策を考えるにあたり、相手の政治経済政策のみならず文化等も把握しておく必要があります。ここで、大学で学んだ政治経済の学びも生きています。幅広い知識を背景に交渉に臨むことに難しさを感じながらもやりがいとなっています。

好奇心旺盛であれ! 心の赴くままに!

高校生の皆さんに伝えたいことは、ご自身の興味・関心のあるものに“一步踏み出してみよう”ということです。私は高校生の時に海外に行きたいという気持ちからホームステイを経験しました。初めて海外に行くことはとても不安でしたが、思い切って一步踏み出したことで新しい出会いがあり、自分の世界が広がったことで夢が見つかり、現職にも繋がりました。この経験から皆さんにも、小さなことでもいいので“これをやってみたいな”という気持ちが芽生えたときは、自分の心に正直に一步踏み出すことの大切さを最後にお伝えします。

自由度の高い学びで
豊かな感性と行動力を育む

[入学センター] 03-3418-9048

LINE @komazawa_adm

X @komazawa_univer

Instagram @komazawa_nyugaku

しなやかな、意思。
駒澤大学



いろいろな経験が今に繋がる 一生懸命やる大切さ

国土交通省 観光庁

国際観光部国際観光課(併:国際観光部参事官(MICE)付)
https://www.mlit.go.jp/kankochou/

中央大学

法学部 法律学科 卒業
佐藤 聖奈さん



挑戦してみる。強い気持ちで やり切った海外留学

大学生生活一番の思い出は、海外へ留学したことです。大学の留学制度に挑戦しました。これは、協定校では無い、語学学校に留学できる制度です。留学エージェントなどを一切通さず、語学学校の選定や滞在先まで自分で手配する必要があり、私には難易度の高い留学でした。慣れない英語ですべての調整を行い、教授にプレゼンもしました。準備途中では、本当にやり切れるのかという不安にも駆られました。しかし、新しいことに挑戦したいという強い気持ちが最後までやりきる原動力になりました。無事に留学許可が下り、念願の海外留学を果たせたときの達成感は忘れられません。挑戦したいという強い気持ちは困難な壁も乗り越えられると実感できた経験となりました。

公務員になろう。きっかけは 自分が置かれていた環境

公務員を目指すようになったきっかけは二つあります。一つ目は公務員



である父の影響です。卒業後の進路を父に相談するたびに、父は仕事の話をしてくれました。身近な人から仕事内容を知れたことで私は公務員に魅力を感じるようになりました。二つ目は法学部で学んだ知識を活かしたかったからです。行政は法律に基づいて執行することから、法学部で得た知識は公務員という仕事で必ず役に立つと思っていました。

大きな仕事に関わっている ことの喜びがやりがいに

私はMICE(ビジネスイベントに関する総称)に関する仕事をしており、主に国際会議に携わる仕事を担当しています。具体的には、国際会議を誘致する団体であるコンベンションビューローに対して、誘致ができるような人材を育成するための支援や、全国の会議場の設備を整えるための支援をしています。よりよい支援を行うために、海外も視察します。先日、韓国を視察した際、韓国ではデジタル化がとても進んでいると実感しました。この視察を通して、日本における課題を発見

できました。魅力ある国際会議の実施を目指すことは、日本の観光業の発展にも繋がります。国際会議の実施がきっかけで、日本を観光される外国籍の会議出席者もいるからです。私は、観光庁の職員として、日本の観光業を支えることに責任を持っています。よりよい国際会議を開催し、日本の観光を盛り上げていきたいです。

日々の経験が 将来の自分を作りあげる

観光庁には様々な出身学部の職員がいます。どの学部や学科出身でも観光庁で活躍できます。観光行政といっても観光事業だけではなく、私のような国際会議の誘致業務など、仕事は多岐に渡るためです。大学での勉強だけでなく、どれだけ多くの経験を積めたかが仕事で生きてくると 생각합니다。私は海外留学の経験から挑戦することの大切さを学べたことで、仕事でも挑戦する気持ちを常に持っています。みなさんも挑戦することに臆せず、色々な経験を積むことを大切にしてください。



文京区茗荷谷キャンパスで始まる
新時代の法曹教育

@chuo_admission 【問い合わせ先】 TEL.042-674-2210

@chuolaw

@chuo_admissions

中央大学
CHUO UNIVERSITY
— Knowledge into Action —



支 援

子どもの全てを見つめ、
生きづらさのトンネルを抜ける

品川区

子ども家庭支援センター
https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

大正大学

人間学部 臨床心理学科
(現臨床心理学部 臨床心理学科) 卒業
矢口 聖菜さん



好き好きを大切に!

子どもの相談相手に憧れて

私は保健室の養護教諭のような、子どもの相談に乗れる仕事に憧れていました。大学に入学した当時は今と制度が違い、臨床心理士がカウンセリング業務に関われる資格でした。第一種の指定大学が就職に有利だと聞き、大正大学に進学。大学院まで進んで公認心理師の資格を取りました。大学院では実習で多くの現場に行き、スクールカウンセラー以外の選択肢を見ました。閉鎖病棟でうつ病や統合失調症を持つ子どもと身近に触れ合えた経験は、今の仕事でも生きています。心に留める教員からの言葉は、「子どもが話す好きなキャラクターや映画の話から、その子の背景を読み取れるかもしれない。『雑談かな』と思っても、アセスメントのひとつとして考えるのが大事」。流行の流れが速い子どもたちの話題についていけるように努めています。

常勤で働ける、働きたい
場所を求めて品川区へ

就職活動では、心理職のほとんどが

非常勤であることから、常勤職のある特別区への就職を希望。大学では実習などをしながら独学で公務員試験に備えました。教養科目は大学受験の範囲で、専門科目は大学院受験の内容でほぼカバーできます。最終的に、かねてより好意的なイメージがあった品川区に就職しました。実家から遠く、一人暮らしが良かったこともポイントです。

家庭へのアドバイスで
マイナスをゼロに

現在は0歳から18歳まで、35人の児童とその保護者の相談に乗っています。発達の相談が特に多く、診断はできませんが、特性に応じたアドバイスを行います。保護者の方は相談に乗り気ではないケースも多数。病院や区役所などと情報を交換しながら家庭へのアドバイスや関与を行っています。家庭の課題をすぐに解決するのは難しく、相談者との付き合いは数年に及びます。精神疾患の知識だけでなく、アニメのシーンの話題が面談に生きることも。先生が言っていた通り、何気ない雑談が仕事を前に進めることも多いです。

家庭へのアドバイスは根気のいる仕事ですが、関係機関から言われる「ありがとう」が嬉しいです。

柔軟に、包括的に、
人を見つめることが大切

子ども家庭支援センターでの仕事は、「この人はこう」と決めつけず、さまざまな角度から児童や家庭を見つめる視野、そして関係機関と連携するための柔軟さが重要です。趣味が広く、コミュニケーションが得意な人には魅力的な仕事だと思えます。反対に、頑固な人には難しいでしょう。相談に来た方を丸ごと理解する難しさは、同時にやりがいにもなっています。

コツコツ続ければ道は開ける

学歴にこだわる必要はないと思います。勉強は無理のない範囲で一日一時間でも大丈夫。続けることが大切です。周りの猛勉強に焦ることがあるかもしれませんが、追い込むように毎日何時間も勉強をこなす必要はありません。私自身も学生時代はアルバイトをしながら入区試験の勉強をしていました。

文学、歴史、心理、メディアなど多彩な学びで
地域社会に貢献できる人材を育成

【代表】03-3918-7311

@TaishoUnv_ad

taisho_university_ad



お世話になった人・街に 恩返しを

東大和市役所

市民環境部課税課

<https://www.city.higashiyamato.lg.jp>

専修大学

経済学部 経済学科 卒業

都立東大和南高校 出身

丑山 大輝さん



恩返し

バスケット部でのコーチ活動が 公務員を目指すきっかけの一つに

公務員を志望したきっかけの一つが出身中学校のバスケットボール部でコーチ活動をしていたことです。コーチ活動は大学の4年間続けました。私はバスケット部出身で、自分の経験から子供たちにバスケットボールを教えていました。活動の中で忘れられない出来事がありました。生徒の一人がバスケットシューズを履いていなかったため、なぜ履かないのかと聞きました。理由は家庭の事情。バスケットシューズを買ってもらえないということでした。私はこの時、好きなスポーツを全力で楽しめない子供もいるのだと、心に引っ掛かりがありました。全ての子供が全力で心配事なくスポーツを楽しめるために自分にできることはないか。この気持ちを持ったことが後に公務員を目指すきっかけとなります。

公務員試験講座で 学んだことを活かしたい

中学バスケット部でのコーチ活動と同時に、専修大学の学内で公務員試

験講座を受講していました。講座は主に試験対策。憲法、民法、行政法、経営学等を学びました。特に印象に残っているのは講座の講師です。資格を800以上も持っており、ユーモアのある講義をしてくださいました。そして、ここで学んだことを将来に繋げたいと思いました。公務員であればお世話になった人や街、そしてバスケット部で出会った子供たちのために繋がる仕事ができるのではないかと。ここから公務員を本格的に目指すようになりました。

公務員になって思うことと やりがい

公務員になって思うこと、それは学生時代に思っていた、公務員はデスクワーク中心という考えが違っていたということです。実際は多くの場面で人と関わり合いながら仕事をします。現在私は土地の固定資産税・都市計画税に関する仕事をしていますが、ここでもやはり人との関わり合いが大切だと感じます。窓口、電話でいかに市民に寄り添って仕事ができるかを考える。そして最終的に市民の方に喜んでもらえる。こ

れが私の仕事のやりがいです。

今やれることを大切に 多くの人と関わり人間力を磨いて

最後に、公務員を目指すための理想的な進路や資格をお伝えしたいのですが、私自身何も資格を持たずに公務員になりました。持っていた資格は自動車運転免許くらいです。公務員試験講座の受講はとても役立ったと思いますが、何よりも学生時代に大切なのは、多くの人と接しながら今しかできないことをやることだと思います。理由は、机に向かっただけでなく、人と関わることから公務員として必要なコミュニケーション能力が身につくと思うからです。人と会話し、人との関わりを積極的に持つことが必要だと日々感じていることから、学生時代に幅広く多くの人との関わりを持ってほしいと思います。私もコーチ活動を通してコミュニケーションスキルが磨かれたと思います。職場においてもチームワークを大切にしながら早くお世話になった方々、街、そして子供達のために恩返しをしていきたいです。

「社会知性の開発」を掲げ
激動の時代を生き抜く知力を育む

[入学センターインフォメーション] 03-3265-6677

@senshu_univ_ao

@senshu-u

専修大学





防衛省の使命を胸に 安全保障政策に尽力していきたい

防衛省
大臣官房秘書課
<https://www.mod.go.jp/>

日本大学
法学部 法律学科 卒業
笹子 芽瑠さん



関連キーワード 公務員・防衛省採用業務

将来を見据えた準備段階として 最高の環境

大学は社会人になる前の準備段階として最高の環境でした。特に3年、4年次に所属していたゼミナールでの活動が印象に残っています。専攻は憲法学で、自ら選んだテーマを研究しプレゼンする双方向型の授業でした。そこでは法律の知識はもちろん、自ら考える力やそれを伝える力を学ぶことができました。また授業そのものだけでなく、合宿やゼミナールの運営にも携わっていたため、社会人になってからも役立っている「リーガルマインド」を身に付けることができる環境でした。

公務員試験は情報戦。 仲間との情報共有は学びの宝

私は周囲から相談役としてよく頼られていたため、この性格を活かし将来は人の役に立つ仕事をしたいと考えていました。それならば公務員が一番向いていると思い、公務員講座を受講しました。その中で大学3年次に受講した国家一般職コースでの学びが印象に残っています。公

務員試験は情報戦と言いますが、仲間やライバルでもある受講生たちと情報共有しながら切磋琢磨できたことは、モチベーションの維持・向上も含め、私にとって宝の日々でした。

安心・安全な日本を目指して

数ある公務員の中で防衛省を選んだ理由は、安全保障政策に自ら携わりたいとの思いからです。毎日のようにニュースで国際情勢の話題が流れていたのが自然とこの分野を気にするようになりました。家族や友達とも、不安定な国際社会の中で今後日本はどうなっていくのだろうという話をよくしていました。そして私自身が安全保障政策に積極的に携わって安心・安全な日本を築いていきたいと思うようになったことが理由です。また防衛省に勤務していた先輩から職場の雰囲気や働きやすさなどの話を聞いていた点も防衛省での仕事に魅力を感じた理由です。

将来の仕事仲間との出会いが やりがいに

私は大臣官房秘書課という部署で主に国家公務員一般職試験の採用

業務を担当しています。採用の仕事は人の人生の一端に触れる重要な業務であると思っています。そのため、業務説明会等で出会った学生の皆さんが試験に合格し防衛省に採用され喜びの声を聞いた時や、今後の日本の未来を防衛省の職員として一緒に支えていく仲間と私自身が出会えたのだと思った時に、この仕事をやっていて良かったと思つています。

熱い思いを持った仲間と 国防に臨みたい

防衛省の使命は我が国の平和と独立を守り国の安全を保つことです。そのために私たちは日々、様々なミッションに挑戦しています。防衛省では2022年度からブロック型人事管理という制度をスタートさせました。この制度で職員やその家族の負担となっている単身赴任が削減されました。国の安心・安全を築くためにはまずは職員が安心して働ける環境を作るとの考えからです。変化を続ける防衛省とともに防衛省職員として国防の一役を担ってませんか!?

多様な分野でリーガルマインドを 発揮できる人材を育成

[本部入学課] 03-5275-8001 (問合せ先)

LINE @nihon-u.nyushi



私が街の安全を見守り、 人々が豊かな豊島区を作り上げていく

豊島区役所

都市整備部 建築課 意匠審査グループ
https://www.city.toshima.lg.jp/

日本大学

理工学部 建築学科 卒業
本橋 優花さん



自分がどう思うかを大切に!!

現場からの学びが多い 建築学科

私は美術が好きで、理数系の科目が得意だったことから、自分の強みにマッチした建築学科を選びました。大学では現場を体験することが多く、高校までのような知識を蓄える勉強だけでなく、知識を活用し実践できることが魅力でした。設計の授業では、理論とは別に体験にもとづいて作り上げる作業の比重が高く、法律要件を満たしながら施主の望むコンセプトの一貫性を保つのに苦労しましたが、授業をとおして体験的に工程を学ぶ大切さを知りました。

自分らしく、好きな豊島区で 働きたい

就職活動については3年次生から、大学が用意している公務員講座を受講し始めました。学内講座で基礎をしっかりと学び、講座内の小論文対策が試験当日に的中し、大学の講座を受けて良かったと思っています。私が就職先を決めるうえで大切にしていたことは2つあります。1つ目

は高校時代に受験勉強で体調を崩した経験から、社会人ではワークライフバランスを重視できる就職先が良かったこと。2つ目は、趣味のアニメや漫画グッズの収集に通っていた愛着のある池袋に携わりたいという想いからです。ふたつの希望を同時に叶えられる職場が豊島区役所でした。

人のためになる仕事で得られる 喜びと学び

現在、私は就職2年目で、事業者が作成した計画書の審査が主な業務です。着工に必要な確認済み証を発行し、さらに現場に行って検査済み証を出します。自分の好きな豊島区をさらに安全安心な街に発展させていくことは、やりがいや喜びを感じます。また、地方公務員には欠かせない区民の方々の相談対応も重要な業務です。具体的には「この場所に建築できますか?」「この家を改築できますか?」といった一人ひとりの悩みを聴いて解決につなげています。相談に乗ったことで直接感謝の言葉をもらえるのは嬉しく、利益だけではなく人々に寄り添った

仕事が公務員の魅力でもあります。また、就職した後も実感していませんが、ワークライフバランスが充実しており、空き時間で資格の勉強なども可能で、建築職員の中には建築士の資格を取る人もいます。

幅広い仕事で経験できる建築職

皆さんも公務員として建築に携わりたい!という希望があれば、建築学科に進学するのをおすすめします。公務員になるには試験が大変そう...と思われるかと思いますが、実は近年の建築職は、比較的倍率が低い傾向や試験科目が少なくなっているケースもあります。また、よくあるイメージで「公務員は決まった仕事しかできないのではないか?」と思われるかもしれませんが、異動もあり建築職は幅広い仕事に携われます。受験に特別な資格を要するわけではないので、ぜひチャレンジしてみたいと思います。私はアニメが好きという思いが豊島区で働くきっかけになったので、みなさんもぜひ「好き」を大切にしてください。進路の決定打は意外と身近な「好き」にあるかもしれません。

14学科を擁する総合型理工系学部 トップレベルの研究施設が魅力!

[本部入学課] 03-5275-8001 (問合せ先)

LINE @nihon-u.nyushi



条例を整備し市民の仕事を支え、 市民の要望に寄り添う

武蔵村山市役所

市民部課税課諸税係

<https://www.city.musashimurayama.lg.jp/>

東京工科大学

メディア学部 卒業

今野 かおりさん



大学に入って選択肢を広げたい

高校時代はほとんど部活に打ち込んでいました。中学校から吹奏楽部に入っていて、土日も含めて部活をやっている毎日でした。楽器はトランペットを担当していて、みんなと一生懸命打ち込む時間が好きでした。進路を決める際はコンテンツ制作を勉強してみたいという思いがあって東京工科大学を選ぶことになりました。入ってから自分がやりたい選択肢を広げていきたいという思いもありました。

水族館にいる魚を 3DCGで再現

大学に入ってから選択制の授業の一環で、学生が魚の形や動きを3DCGで再現した映像を流す筐体を水族館に設置し、お客様自身の手で魚を動かすことを体験してもらうというプロジェクトを行いました。水族館にいる魚のデータをインプットしているので、見たい魚を近くで見ることができ、海の中を探索しているような気分になっていたのだと思います。何年もかけて取



り組んでいたのも、とても思い出に残っています。

条例に携わるのは 責任もやりがいもある

最初は接客業を希望して民間の会社に就職しましたが、改めて将来について両親とも話し、生活や待遇面での安定性を大事にしようと考え、公務員を目指すことにしました。今は武蔵村山市役所に勤めており、税金関係の業務に携わっています。私が所属する係では主に3つの役割を持っていて、1つ目が住民税や固定資産税などの税関係の証明書を市民に交付する業務、2つ目が軽自動車税に関する業務、3つ目が法律の改正に対応して条例の整備を行う業務です。私は係長という立場で、係の職員を監督しています。全ての業務が重要な仕事ですが、特に条例の整備については、市民の皆さんの生活や仕事に大きく影響を及ぼすこととなりますので、その責任の大きさとやりがいを感じながら取り組んでいます。市役所の仕事は多岐にわたり、制度も複雑なものが多いのですが、間違いが許されな

い仕事です。迷ったらできるだけ一人で判断しないようにしています。他部署の先輩等に相談したり、上司に聞いたり、わからないことはわからないまま抱え込まず多くの方に共有するようにしています。

学生時代にしかできない 経験をしてほしい

このお仕事には自分の考えを相手にしっかりと説明できる方が向いていると思います。市民と対話する中で、理解していただけない状態で終わると、不満を持って帰ることになりトラブルにつながるケースもあります。市民の要望に寄り添いながらも伝えるところはきちんと伝え、納得してもらうことが大事です。学生のうちはアルバイトであったり、友達と遊ぶであったり、その時にしかできない経験があります。社会人になってから、会話力やコミュニケーション力など、その時に培った経験が必ず生きてきます。自分が振り返ったときに、ああやっておけばよかったなということが今になるとたくさん浮かんできます。ぜひ経験することを大事にしてほしいと思います。

あらゆるメディアの
プロフェッショナルを育成する環境

[広報課] Tel.0120-444-903

@tut_tweet

tut_koukaton.official

東京工科大学



困難な時こそ

KOTO City 自分が成長できるチャンス

スポーツと人情が熱いまち 江東区

江東区役所

こども未来部 保育支援課 事業支援係
<https://www.city.koto.lg.jp>

東海大学

情報通信学部 情報メディア学科 卒業
 宇田川 裕真さん



困難な時ほど、
前向きに！

“自分の興味を大事にしよう”と 考えたうえでの進路選択

私は、大学進学先を決める際、優先したい自分の思いは何かをまず考えました。そこで、はっきりと出てきた答えが、自分の興味をもっと深掘りできる、自分の興味を勉学として学ぶことのできる大学に進学することでした。大まかではありますが、当時、情報処理や物事のデジタル化についてももっと知りたいと思っていました。世界中で日々技術が発展する情報化社会において、VRやCGなどの最新技術を幅広く学べる大学を探そうと、東海大学に出会いました。大学ではVRの研究やCGでの自主製作課題において、一からプログラムを作成しました。試行錯誤を重ねる過程で、自然に問題解決能力や忍耐力も向上しました。興味があればおのずと他の能力も身につく、興味を大事にして良かったと思います。

新しく発見した自分の興味が 公務員の道へと繋がる

情報メディア学科に所属していたので、もっぱら情報に関する勉強をして

いました。将来も情報に関する職種に就くのだろうと考えていました。そんな中、学生時代に何か新しいこともやりたい気持ちがあり、大学のごみ拾い大会やお祭りのボランティアに参加しました。自分のしたことでも他の人が喜んでくれる経験を、とても気持ちが晴れ晴れしました。そして地域に根差した社会貢献に携わりたいと思うようになり、地域と一番繋がりのある仕事を考えた時に公務員という選択肢ができました。

仕事を通して得た気づき 困難はチャンス

私は現在、こども未来部保育支援課にて、私立保育所などに向けた補助金の算定及び支給事務に従事しております。どの職種、仕事でも言えることだとは思いますが、仕事では日々解決すべき課題が変わります。区役所においても区政課題や前例のない取り組み事項が生まれ、困難な状況に置かれることも多くあります。もう無理だ、逃げ出したいと思うことももちろんありました。しかし、目の前の課題解決に向けて、周囲の職員と一丸となって案を出し

合いながら困難な状況乗り越えてきた経験を積むことで、少しずつではありますが、落ち着いて問題に対処できるようになりました。自分で感じることでできる成長でもありました。ここから言えることは、困難な状況にあったからこそ、成長できたということです。難しい壁にぶつかった時は大きなチャンスです。現在では困難な状況に直面したときこそ、さらに前向きに取り組む姿勢を持つようになりました。

「自分が興味を持てること」を 考えた進路選択を

私の経験から、将来の就職先、進学先を考えている学生の皆さんに伝えたいことがあります。それは、自分の興味を大事にすることです。私は自分の興味を大切にできたことで、東海大学や公務員という仕事に出会えました。「好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、興味があればどんな難しいことでも前向きに楽しく取り組むことができます。また好きな気持ちは自分の成長にも繋がります。皆さんの活躍を陰ながら応援しています！

自然と調和しながら人々が安心して生活できる新しい空間を創造する。

[入試広報担当] 0463-50-2440

@Tokai_Univ_

tokai_univ_

東海大学





市役所職員

市民の力になりたい 市民の手助けをしたい

羽村市役所

福祉健康部 障害福祉課 障害福祉係
https://www.city.hamura.tokyo.jp

順天堂大学

国際教養学部 国際教養学科 卒業
青木 有紗さん



積極的に行動できる自分に なれた短期留学

大学1年生の時に参加した2週間の短期語学留学の経験は大学で印象に残っている出来事です。この留学を通して、積極性が身についたからです。大学の語学プログラムで、私はセブ島に留学しました。現地では英語で生活する環境に慣れるまで、自分の会話力に恥ずかしさを感じ、なかなか自らコミュニケーションを取りにいけませんでした。これでは留学が無駄になってしまう、これではいけない、という気持ちから、ミスをしてもいいと考えを切り替え、自分から周囲に話しかけることに努めました。ネイティブの方は誰一人単語や文法の間違いを気にしませんでした。この経験から度胸がつき、帰国後もあらゆる場面で自ら行動でき、積極性が養えた大学の留学制度にとっても感謝しています。

誰かのために働きたい気持ちが 公務員を目指すように

就職活動を開始したとき、働くうえで自分の軸を考えました。当時、



失敗は成功の基 失敗を恐れず挑戦を!

アルバイトで接客業を長く続けていた経緯もあり、接客業を軸に就職活動をしました。しかしコロナ禍もあり、接客業での就職は困難でした。そんな中、両親が公務員であったことから、公務員の情報収集を始めました。気づいたことは、公務員は接客業ととても似ているということです。どちらも「誰かのために」という考えが一番にある仕事だと気づきました。この気づきが公務員を志望するようになったきっかけです。

“誰かのために” 自ら学ぶ姿勢を常に心がける

私は障害福祉課で、手当の支給や障害者手帳の交付などを担当しています。以前、聴覚障害のある方へ手続きのご案内を紙に書いて対応したところ、その方から「話者の口の動きを見て理解する方が、紙に書いてやり取りするより分かりやすい」と伝えられました。この経験以来、どんな対応が相手にとって望ましいかを考えるようになりました。私の仕事軸である“誰かのために”という点で、自ら学ぶ姿勢で業務に取り組むことを大切にしています。

高校生の皆さんに伝えたい言葉があります。それは、「失敗を恐れずに!」という言葉です。私は大学の留学経験や仕事でのいろいろな経験を通して、失敗してもその失敗が必ず次のステップの糧となることを学びました。失敗のあった経験や仕事は、問題無く進んだものよりも学びの質が違います。私は、留学経験で、自分の英語のミスを恐れてコミュニケーションが取れなかった失敗があったからこそ、ミスを恐れずに、積極的に行動を起こすことの重要性を学べました。また仕事では失敗した業務があったからこそ、同じような状況になったときに、落ち着いて対処できるようになりました。失敗はありがたいものだという考えを持つことは良いことです。学生時代は自由に動ける身でもあります。だからこそ、今のうちに、いろいろなことに挑戦し続けて、できるだけ多くの失敗を経験してほしいと思います。失敗は成功の基です。失敗の数だけ皆さんを成長させてくれます。

「医療」と「英語」の専門知識で グローバル人材を育む国際教養学部

【教務課】 03-3813-3111

@juntendo1838

juntendo_1838

順天堂大学 国際教養学部
Suntory University Faculty of International Liberal Arts



関連キーワード 公務員・市役所 福祉健康 障害福祉

順天堂大学

過去の経験が現在に繋がる
そして、未来に繋げていける

足立区役所

福祉部 福祉管理課 民生係
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/>

東海大学

文学部 歴史学科 卒業
廣瀬 亜海さん

楽しもう!

自分が変わっていきける
実感を得られた大学生活

大学生活では高校時代よりも様々なことに意欲的に取り組みました。例えば、大学1年生の春に大学の留学プログラムでカナダに1か月ほど留学しました。その留学では日本人が多く、日本語での会話も多かったため物足りなさを感じました。そのため翌年に単身で1か月アメリカに渡航しました。カナダ・アメリカともに現地の生活、文化の違いなどに触れ、多くの刺激をもらいました。

大学での告知で目にとまった
講座で自分の道が拓けた

就職活動の前は「将来何になろう…」と悩んでいました。その時に出会ったのが、大学で告知されていた公務員講座です。何か自分のきっかけになるかと思い受講しました。その講座の中で、講師の方から『公務員』についての様々な話を聞いたり、自分で調べたりするうちに公務員という仕事への魅力を感じるようになりました。そして、困りごと、悩みごとを抱える地域の方々の相談窓口になりたいと思いました。

豊富な種類の講座
自分のやりたい道に進む

私が選んだのは、国家公務員から地方公務員、警察まで幅広く受験できるコースでした。理由は公務員といっても様々で、何になりたいか明確に決まっていなかったからです。基礎的な5教科から、憲法・民法などの法律、ミクロ・マクロ経済学まで幅広い分野を学びました。最終的に区職員と警察官に合格しましたが、学生時代様々な経験をさせてもらったことから、同じようにいろんなチャレンジをしたいと思っている若い人たちの活動支援を行いたいと思い区職員を選びました。

住民が安心して生活できる
ためのサポーター役

区役所は福祉、教育、防災など多方面から住民の暮らしを支えたり、地域の企業等と協力し街の活性化・街づくりに努めたりするなど様々な役割を担っている場所です。今は民生係という部署で働いています。この部署では、足立区の民生・児童委員の活動のサポートを主に行っています。民生・

児童委員とは、訪問などを通じて、住民の生活状況を必要に応じて把握し、相談にのったり、それぞれの悩み事に寄り添う活動を行っています。また、話を聞くだけでなく、その人が必要としていることを理解し、困りごとを対応・解決できる専門機関へ繋ぐ橋渡しの役目も担っています。民生・児童委員のサポートを通じて地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいです。

自分の好き、興味を大切に

大学は自分の好きなことを極めたり、様々なことにチャレンジできる場所です。興味を持ったことは、積極的に取り組んでみてください。自分の可能性の幅も広がり、好きなこと、やりたいことがどんどん見えてきます。何をすればいいか悩んだときは、楽しそう、やってみたい、など第一印象で決めることも一つの選択肢です。いろんな挑戦がどのような結果になったとしても、すべて経験として自分の中に蓄積され、その経験が次のステップへのきっかけとなります。何事も楽しみながら挑戦していきましょう。

自然と調和しながら人々が安心して生活できる新しい空間を創造する。

[入試広報担当] 0463-50-2440

@Tokai_Univ_

tokai_univ_

東海大学



くらし・生活の分野で
活躍する先輩
物流・営業



書類から工作機械まで、世界中の
モノを動かすために人と接する

東海大学 文学部 文学学科 卒業

フェデックス エクスプレス

田村 祐樹さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 航空輸送、国際ビジネス、輸出入、グランドオペレーション

関連業種: 物流 陸送 営業 配送ドライバー

学業で学んだチームワーク

高校時代は、小学生から続いていたゴルフ部の活動に明け暮れました。特に進路を決めないまま迎えた2年生の冬。私はゴルフを続けたいと思いゴルフ部のある東海大学を選びました。大学でもゴルフ部に入り、ゼミでは3年生から卒論に着手。私は外来魚に興味を持ち、ブラックバスなどが繁殖した経緯を研究しました。当時は教授や仲間に多くのサポートを貰い、私も仲間の研究を手伝いました。今の仕事は仲間との連携なしにできない仕事なので、学生時代に学んだチームワークが活きています。

世界的な仕事がしたく フェデックスへ

卒業後は国際的な職場で働きたいと思っていたので、大規模な国際物流サービスを提供するフェデックスに就職しました。私の仕事は海外から輸入された貨物、日本から輸出される貨物の集荷、配送とお客様のサポート。最近はネットショッピング(EC)も国際化して海外への発送が増えています。EC事業のお客様が販売した商品の梱包など、海外輸送の準備段階からお客様をサポートしています。日本のゴルフ用品は海外でも人気で、大好きなゴルフブランド用品の輸送に関わることもあります。最近取引が少

ないお客様には集配業務で伺う際に、さらに役立ちそうな輸送サービスの提案もします。

感謝の言葉を胸にチームを率いる

嬉しい瞬間は感謝を伝えてもらうときです。たとえば、大型貨物の運搬を済ませたときや、フェデックスの各種輸送サービスの詳細の説明を伝えて、より効果的な利用方法を理解してもらったとき。「ありがとう」は嬉しい言葉です。現在では配送のグループリーダーとして10エリアの配送を行っています。チームで意見をまとめ、同じ方向を向いて仕事をすることが私のミッション。生産性を高めるべく、日々努力しています。

英語ができると仕事が進む

私の仕事は人と話すことが好きな人が向いているでしょう。貨物輸送前後の調整では多くのコミュニケーションが必要です。また、英語が役立ちます。国際輸送を行うフェデックスでは海外のお客様が関わります。日本企業のお客様でも、貿易に関わるビジネスを行う方々は英語の方が助かるという方が多数。私は英語が

得意ではありませんでしたが、少しずつ覚ええました。社内でのキャリアアップでも英語力は重要なので、スキルアップしていきたいです。

社会人って意外と楽しい

私の高校時代には「社会人は仕事が大変そう」という漠然とした不安を持っていました。しかしフェデックスでは協力的な仲間や取引先に囲まれて楽しく働いて、「仕事って良いな」と思っています。休日はゴルフに熱中して気分転換。実は学生時代より今の方がゴルフの上達を感じられています。仕事と自分の時間のバランスをしっかりと取りながら、のびのび働ける未来があるので、ぜひキャリアを前向きにとらえてみてください。



グループのリーダーとして、より効率を高める仕事の仕方を工夫しながら勤務しています

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



先輩の声を
聞いてみよう!

国際関係分野を目指す先輩

Interview



植村 汐里さん

法政大学
グローバル教養学部
グローバル教養学科 2年(取材時)

教授と学生の距離が近い
少人数制が魅力

幼少期を海外で過ごし、高校でも1年間の海外留学を経験したので、オールイングリッシュの学部を志望していました。数ある大学のなかでも、法政大学のグローバル教養学部は、ほとんどの授業が20人程度という少人数制だったことが大きな決

やりたいことが何でも「自由」にチャレンジできます!

大学はたくさんの人と関係を築きながら新しい自分を発見できる場所

め手になりました。自分と同じ環境で育った人たちと一緒に学びたいという気持ちもありましたが、入学してみると、海外経験がない人たちからとても多くのことを学んでいます。

学びの幅は意外なところから広がる

私はアメリカで自然に英語がわかるようになったため、文法中心で勉強する日本の中高の英語の授業は理解ができなかったし、あまり楽しくありませんでした。高校までの英語は文法を中心に学ぶという印象がありますよね。大学では文法以外にフォーカスを置く授業がたくさんあります。例えば映画のセリフを聞きながら、男性と女性のセリフの違いや、悪役のセリフにはどんな特徴があるかを分析する「映画分析」もそのひとつです。そのようなことから、英語の学ぶことがとても興味深く感じられるようになりました。

学部選びは自分を分析することから

成績も大切ですが、まずは自分は何が好きか、どんなことに興味があるかなどをしっかりと自己分析して、学部選びにつなげていくとよいと思います。受験勉強期間はモチベーションを保つのも大変ですが、頑張っ



〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
(市ヶ谷キャンパス)
【入学センター】03-3264-9300



高橋 未優さん

昭和女子大学 国際学科 4年(取材時)

キャンパスで国内留学を。世界を意識できる環境。

世界を舞台に活躍できる人を育てるグローバルキャンパスです

世界を見据えた環境

入学の決め手は、大学と海外提携大学の二つの学位が取れるプログラムがあること、敷地内に提携大学の一つであるテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)があることでした。ここでなら世界を常に意識できる、世界を見据えた環境にとっても魅力を感じました。

高校から抱いていた夢、
正規留学の実現にむけて

入学後は、海外提携大学の学位が取得できるダブル・ディグリー・プログラムへの参加を目指し、色々なプログラムに参加しました。なかでも、IELTSの試験対策を目的とした「英語集中講座」で徹底的に英語学習をしました。そしてプログラム参加に必須のIELTS 6.0をクリア。留学という夢に近づけました。

日本で留学する選択

3年次TUJに入学。理由は、国内留学ができるからです。特別奨学金の助けもあり費用面での負担も軽減できました。日本だけ学ぶ環境は海外。毎日必死で勉強し、英語力は確実に伸びたと自信を持って言えます!



〒154-8533
東京都世田谷区太子堂1-7-57
【アドミッションセンター】03-3411-5154

「世界を知りたい。海外で学びたい。」
がきっかけ

高校時代、「大学では正規留学がしたい」という思いがあり、留学すること、グローバルを意識して学ぶことは私の夢でした。この夢を描いていた中、塾講師から勧められたのが昭和女子大学でした。

先端技術の分野で
活躍する先輩

研究開発

為せば成る
常にチャレンジも!

東京都市大学

工学部 電気電子工学科(現:理工学部 電気電子通信工学科)卒業
工学研究科(現:総合理工学研究科) 電気電子工学専攻 博士後期課程 修了

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

野口 俊介さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 宇宙開発、ロケット、旅客機、電気電子工学

関連業種: 設計開発 技術者 電動航空機研究開発

得た知識をもとに、仮説をたて実験を
繰り返しして目標を達成する面白さ

モーターの研究がしてみたい

進学先を決めるきっかけは、自分の興味分野からでした。趣味が鉄道や乗り物だったので、電気系の研究やモーターの研究ができる場所で探していました。その中でご縁があったのが東京都市大学です。中高生くらいからモーターの動かしか方に興味を持っていました。

研究の面白さを知ることができた
大学生生活

大学では電気機器研究室・モータードライブグループに所属していました。自分で設計し、動作の確認をしたものをレポートにまとめる授業で設計製作ハイテク賞を受賞しました。やるからにはトップを目指したいという気持ちで取り組みました。自分の思っているやり方で成果を出せたことは次の研究へのモチベーションにもなりました。研究の面白さを知りました。

目標を持って取り組む楽しさ

研究の面白さを知ることができたもう一つの原因、それは目標があったことです。目標があると、達成に向けての自分の取り組み姿勢が違います。研究過程では自分の予測通り

にならず行き詰まることが多々あります。しかし目標があると、途中で投げ出さずに進むことができます。私は行き詰まったとき、一旦研究から離れることをしていました。気分転換中にハッと答えが思いつくこともありました。息抜きしても最終的にまた課題に向き合えたのは目標が根底にあったから。目標を持つことは人生を楽しむために絶対に必要です。

燃費のいい旅客機の開発を目指す

現在の部署では電動航空機に関する研究をしています。具体的には、今の旅客機のエンジンに発電機を取り付けて、その発電機で一部の動力を電力として取り出し、その電力で電動のファンを回し航空機の推力を得て、全体的な航空機の燃費削減を目指す仕事です。大学と仕事の研究の違いは、自由度です。仕事では条件、制約がある中で最大限の成果を出さなければいけません。より求められているものが高いことを日々感じています。ただ、目標へのアプローチは大学時代と同じ。自分たちの仮説の実証の積み重ねです。大電力の実証システムを作り、そこからデータを取得、航空機の燃

費削減という目標達成に向かって現在は突っ走っています!

受け身にならない。自ら動く。

学生のみなさん、自ら動くことを忘れないでください。社会に入ると、環境がガラッと変わり、何をやらなければいけないか、何をやりたいのかを自ら考えなければいけません。自分から面白いと思えるものを見つけるアンテナを伸ばしておく必要があります。やりたいことは目標にもなります。私は、目標をたてて、達成に向けていろいろなものに目を向けていくという姿勢を研究室で学べました。皆さんも受け身にならない、自ら動くことを意識して学生生活を送ってください。



目標があり、それに向かって仮説を立て実験し、フィードバックする。これが研究の醍醐味です。

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



IT・メディアの分野で
活躍する先輩

コンサルティング

やりたいことを
ズッ やろう!!

面白そうだなという漠然とした
想いが将来の“やりたい!”に

東京理科大学 理工学部 経営工学科 卒業

デロイト トーマツ
コンサルティング合同会社
真鍋 歩乃佳さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： コンサルタント、経営、IT、プログラミング

関連業種： コンサルティング リスクアドバイザー

撮影場所：Deloitte Tohmatsu Innovation Park 【URL】 <https://park.deloitte.jp/information>

面白そうだなという漠然とした
想いが将来の“やりたい!”に

高校の時から何となく漠然と経営に興味があり、大学で経営工学科を専攻。就職活動が本格化する大学三年生で将来を考えた時、やりたい経営って何だろうと考えました。見えたのは「会社をどう成長させるかを考える仕事がしたい。一つの会社だけではなく色々な会社と仕事がしたい。」という気持ち。そこからコンサルティングを志望するようになりました。

大学で学んだことが仕事で
生かされていると実感する日々

理系的視点で経営について学んでいくのだからと予想していた経営工学科では、予想外にもプログラミングの授業がみっちりありました。プログラミングと経営はどう関係しているのだろうかという疑問も実はありましたが(笑)、結果的に今の仕事でかなり生かされているのでプログラミングの授業に感謝! 現在、私が担当している会社では、経営効率化を目標に、古いシステムを新しいシステムに変えることで仕事の自動化を図ろうとしています。生じる課題に対し解決策を提案しますが、その時もテクノロジーの知識が必要です。今の時代テクノロジーと経営は常に一緒。大学でプログラミング

を学べて良かったと日々実感しています。

自分の成長を感じられる仕事

この会社、この仕事の魅力は、自分の成長を感じることができるという点です。大学までは、自分の成長を感じることができない性質でした。しかし、この仕事を始めてからは仕事の振り返りをするたびに、“私、成長できているわ!”と思えるようになりました。それまでは、どんなに頑張っても、できないことにフォーカスしがちでした。デロイトでは、できないことよりもできたこと、要は仕事の成果がわかる時間、瞬間の方が多く自分の成長を実感できるのだと思います。

自分の考えをしっかりと持つこと

一緒にお仕事をするお客様は、圧倒的に私よりも経験がある方ばかり。お客様の要望に応えるとき、自分の経験の浅さを理由に逃げてはいけません。お客様と同等の立場で接するため、自分なりにどう考えたかを伝えることを大切にしています。これは上司

から教わりました。自分の考えをしっかりと持つことは私の仕事上での心得です。

やりたいという気持ちを大切に

これから将来を考える皆さんに伝えたいこと、大事にしてほしいこと、それは“やりたい!”という気持ちです。夢を持ち続けてほしいです。少しでも興味を持ったことがあるのならば、その興味を追い求めてもいいと思います。やりたいことが見つからないという方は、もう一度立ち止まって振り返った時、自分に説いた時、きっとやりたいことが見つかるはず。自分のやりたいことを大事にしてください!



お客様と一緒に考えてみる。相手のために動くという考えを大切にしています。



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



IT・モノづくりの分野で
活躍する先輩
ソフトウェア開発

学生の間は時間がたくさんあります、
挑戦して多くの経験を重ねてください

自己実現

東京電機大学 工学部 情報通信工学科 卒業

カシオ計算機株式会社
大越 元裕さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 文具、機械、家電

関連業種： ソフトウェア開発 プログラミング 情報処理・通信

モノづくりに携わる仕事をしたい

小さい頃からブロックを使って組み合わせる遊びが好きで、いつかはモノづくりに携わる仕事したいと漠然と考えていました。高校ではパソコン上のソフトウェアの作り方・C言語を学ぶうちに、プログラミングに興味を持つようになりました。将来を考えるうちに、自分が進みたい開発系の企業の就職に強い大学に入ることができたらと思い、東京電機大学へ進学しました。大学ではC言語やそれ以外のプログラミング言語を学びました。LEDの点灯制御などができる開発ボードにも触れる環境があって、実際に手を動かしながら組み込みのソフトウェア開発も行いました。4年間学ぶ中で、身近にあるものを創って生活を便利にしたいと思い、一般消費者が使う製品を扱うメーカーに入ろうと、カシオ計算機に就職することになりました。

電子文具の組み込みソフトウェアの開発を担当

現在は、電子文具の組み込みソフトウェア開発を行っています。わかりやすいものというと、テープに文字を印字して筆箱などに貼ることができる、NAME LANDという商品があります。そのテープを動かすモーター

を起動したり、サーマルヘッドという熱で文字を印刷するセンサーの制御を行うソフトウェアを開発しています。早く印字するには、モーターの速度を早くする必要がありますが、そうすると文字がかすれて見えにくくなる問題が起こります。そのバランスのなかでよりよいものを追求しています。

つくるモノの動きを 想像できることが大事

モノづくりの仕事に向いているのは、つくるモノの動きを想像でき、その動きを実現させるうえで必要な構造を想像できる人だと思います。あとは、仕事はたくさんの人と協力して進めなくてはいけないので、自分だけがその動きや構造をわかっているだけではダメで、ロジカルに相手に説明できる力が大事です。あと私は学生時代に情報処理技術者の資格を取得しましたが、学んだ内容が仕事で他社や他部署の方と会話する際の共通言語として大きく役立ちました。

行動すると自分が思っていたより 大きな目標がクリアできる

学生生活の間は、やりたいことを探せる時

間がたくさんあると思いますので、いろんなことに挑戦して多くの経験を重ねてください。私は学生時代、地元の府中から三鷹まで約10kmの距離を自転車で行ってみようと思い立ち、友達と一緒に出かけたことがあります。次から次へと進むうちに、思った以上に遠くまでいけることに気が付き、最終的には約30kmも離れた上野まで到達することができました。行動すれば意外と高い目標をクリアできるものです。皆さんも何かにチャレンジすると、自然と自分が最初に想像しているより大きなことができて、それをぜひ実感していただけたらと思うので、ぜひ自信を持って進んでほしいなと思います。



実際に自分が携わった製品がお店で並べられているのを見るとやりがいを感じますね

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ！



IT・メディアの分野で
活躍する先輩

情報系・エンジニア



興味を大きく!!

自分のアイデアや手掛けたものを
多くの人に届けられる面白さ

二松学舎大学 文学部 国文学科
映像・演劇・メディア専攻 卒業

株式会社フジ・メディア・テクノロジー

野本 玲さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： テレビ、ディレクター、メディア、スポーツ中継

関連業種： テレビ業界 報道メディア 動画制作

父の背中を追いかけて
メディアの道へ

父がテレビ業界で働いていることから、幼少期からテレビが身近にあり、小学生の頃には、自分もテレビ業界で働きたいと思うようになりました。その中で、二松学舎大学附属高校へ進学。大学進学の際には、内部進学か外部進学で悩みましたが、将来を見据え、メディア専攻が設置されている二松学舎大学への進学を決めました。

興味があったメディア論を学習

大学では、3年次から興味があったメディア専攻のゼミに所属し、メディア論や映像論について学びました。実践的な活動としては、柏市にある大手百貨店に対して、改善案をプレゼンする機会も。採用には至らなかったものの、他大学と共同で、現地視察やディスカッションを通して提案資料を自分たちで作成した貴重な経験でした。

ゼミで高めた
コミュニケーション力と国語力

大学のゼミ活動では、企業と連携しながらプロジェクトを進めることも多くありました。大学時代から社会人の方と接する機会があったおかげで、AD業務にも生かせるコ

ミュニケーションの仕方を学べたと思います。また、仕事で原稿を書くこともあります。が、国語力が強みの二松学舎大学で学んだ言葉の使い方や表現方法が生きています。

自分のアイデアを
多くの人に届けられる仕事

私は、制作センター 制作2部に所属しており、ディレクターを目指し、現在はAD業務に従事しています。担当しているのはCS放送のF1に関するニュース番組や番組配信サービスでのスポーツニュース番組です。具体的には、番組制作に必要な情報のリサーチや、素材の撮影、スタッフ・出演者用のお弁当の手配などの業務を行っています。やりがいを感じるのは、自分が制作した映像が放送され、それに対して出演者の方や視聴者から良い反応をいただけたときです。自分のアイデアが多くの人に届いていると実感できて嬉しくなります。一方で、伝え方を間違えると多くの方に誤解を生んでしまう難しさもあります。そのバランスを保ちながらも、自分のアイデアで多くの視聴者に楽しんでもらえる番組制作をするのが現在の仕事の醍醐味だと思います。

何事も一度はチャレンジ!

テレビ業界に向いているのは、まず、いろんなことを楽しめる人。特に野球が好きでテレビ業界を志した私の、最初の担当番組はF1でした。当初は知識があまりない中で仕事に励んでいましたが、自分なりにF1の面白さを見つけ知識を吸収した結果、現在では楽しく仕事ができています。また、引き出しの多さも活躍に繋がると思います。私の場合は、番組の最後に流す楽曲の選曲で、自分の音楽の知識を生かせることができました。さまざまな経験が生かせる業界なので、自分には合わないと思うことがあっても、一度は挑戦してみてください!



自分のアイデアが多くの人に届いていると実感できる仕事です!

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



IT・メディアの分野で
活躍する先輩

マーケティング
・企画職

自分自身の考えやアイデアを

発信していくことが大事！

焦らず色々と
経験してみよう!!

青山学院大学

法学部 法学科 公共政策コース卒業

サイボウズ株式会社

小島 由莉さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 経営戦略・マーケティング・カスタマーサクセス、コンサルティング

関連業種： 企画営業 ITビジネス 情報処理サービス

部活動に力を注いだ大学時代

青山学院大学は学部が沢山あり、自分の興味のある分野について幅広く受講出来る大学でしたので、進学しました。大学生活で一番注力していたのは部活動で、オーケストラ部に所属していました。学部や学年を問わず120名を越える大所帯で、私はバイオリン担当でしたが、他にも部の運営に関する仕事の執行役員を務めていました。演奏会の準備や、プロの先生を招いて指導していただくこともありました。減多にお話する機会のないプロフェッショナルな先生方との交流があったことはとても嬉しかったです。現在も企画立案や、取引先と交渉したり関係性を築いたりしていますので、学生時代の経験は将来の仕事に活かされる貴重な財産となりました。



大学時代は行政法を学んでいましたので、公務員の仕事も視野に入れていました。

労働環境を整えたいと
思ったきっかけ

現職に就ききっかけを与えてくれたのはバイト先でした。部活を引退後に、フィットネススタジオのバイトを始め、仕事はとても楽しかったのですが、人手不足で、予約システムなども活用されていなかったもので、そこで働く社員さんは本当に大変そうでした。自分もこれから社会に出る立場で、「楽しく働きたい人をもっと増やしたい」「もっと業務を効率化出来るITツールはないだろうか」と考え、IT企業に的を絞って就活を始めました。

積極的な意見が会社で
活躍できるカギ

サイボウズにはキントーンというサービスがあります。私は営業本部で、パートナー企業・協力会社さんに対して施策提案や支援などを行っています。協力会社さんがいるおかげで、より多くの方にサイボウズ製品を知っていただける面白さがあります。入社して4年目ですが、大きなプロジェクトを任せていただけることもあります。この仕事においては、待っているだけだと活躍出来



「キントーン」は顧客管理やセミナー管理などあらゆる業務に対応したシステムです。

ません。とにかく「発信」することが大事だと思っています。年次や立場に関係なく、お互いの意見を言い合えるサイボウズの環境が、私自身に合っていると思っています。

「好き」を無理やり
見つけ出さなくても大丈夫

今やりたいことが見つからなくても大丈夫です。勉強だけでなく、部活動やバイトなど他のことにも目を向けてみて欲しいです。それでも見つからない場合は、「得意だな」「嫌いじゃないな」という基準で決めてみるのも良いかもしれません。私自身もIT系に興味があったというよりは、嫌いじゃないなという思いから始まっています。そうやって将来が見えてくることもあるのではないかと思います。

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ！



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

ウェルネス



少しでも気になったら
動いて現場で体感しよう

国際基督教大学(ICU)

教養学部 国際関係学科 卒業

味の素株式会社 三木 卓也さん

この仕事について
もっと知りたいとき!

関連キーワード： 栄養、健康、教育、グローバル

関連業種： 食品 飲料 ウェルネス

クリティカルシンキングが
今の考え方のベース

高校生のとき、好きでよく洋楽や海外製品に触れる機会がありましたが、英語をツールとして身に付けておくことで中に込められた思いや考え方が理解でき、その魅力を深く感じられることを知りました。英語にもっと触れるためには、通う高校の隣にあったICUが最も適していると思い、入学することに決めました。学科(当時)では授業の7~8割ほどが英語でした。その中で私が最も印象に残っている授業は英語でのディスカッションです。クリティカルシンキングという考え方を徹底的に教え込まれました。相手が行う主張はすべて疑う姿勢を持ち、なぜと問いかけ続けることでその本質を突き詰めていくものです。相手のネガティブなところを探すというよりは、よりポジティブで高度な議論をする考え方で、今の考え方のベースにもなっています。

国や地域の食習慣にあわせた
栄養教育を

就職活動においてはグローバルに展開する日本企業で仕事をしたいという思いがありました。海外での在任経験から、私にとって食の豊かさ・多様性が日本のよさの一つであると感じていて、もっと広く伝えることに携わろうと、味の素を選びました。現在は、海

外を含めた従業員に対する職場での健康施策推進を支援しています。国内5法人とアジア・北南米・欧州といった海外12法人が主な対象です。会社として世界の人々の健康寿命の延伸に貢献することを目指していますが、そのためにはまずは従業員の健康が非常に大切になってきます。その一つとして、従業員自身が食を通じた健康管理ができるように、栄養教育教材を提供し、特に海外法人と協力しながら栄養教育をサポートしています。大事なのはこちらの考え方を押し付けるのではなく、それぞれの国や地域の食習慣に合わせた形での栄養バランスの良い食事を考えてもらうことだと思い、日々コミュニケーションをとっています。

異なるものに興味を持ち、
自分の世界を広げよう

異文化や新しい考え方に興味を持ち、自分の世界を広げられる方がこの仕事に向いています。能力面では英語でディスカッションができると幅が広がります。留学するのが一番近道かもしれませんが、まずは言語を学び、自分の考えを発信する、フィードバックを受ける、そして改善して議論全体をブ

ラッシュアップさせる。この経験は仕事でも大いに生きてくるはずですよ。

体感で得られる情報は
かけがえのない財産

常識にとらわれず、当たり前を疑ってみてください。そうして日々考えながら情報に接していくと、自分の興味ややりたいことが自然に見えてきます。少しでも気になることがあったら自らが動いて見に行ってください。今はネット上で簡単に検索して知りたい情報を見つけることができますが、現地で見たこと・考えたことなど、体感で得られる情報はかけがえのない財産になります。どんどん動いて様々な経験を重ねていけば、必ず自分の糧になっていくと思います。



その国ならではの健康に対する考え方、習慣を大事にしたいですね。



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

店舗運営
マネージャー



東洋大学 文学部 史学科 卒業

LEGOLAND Japan 合同会社

葛山 幸恵さん



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード：店舗責任者、マネージャー、支配人

関連業種：エンターテインメント レジャー 観光 外食

お子様もご家族も
笑顔になれる場所

子供と接することを仕事に

元々出身が埼玉で、関東にあるテーマパークが大好きで、学生のときにアルバイトで勤務していました。大学の時は教員を目指していて、中学校の教育実習にも参加しており、子供と接することに楽しさを感じていました。ですので、就職先を全国のテーマパークやホテルに絞って活動していました。レゴランド®・ジャパンは2歳~12歳のお子様楽しめる施設で、レゴ®ブロックを通して遊び、学びながら成長できるという理念にとても共感し、入社することに決めました。

目線と言葉遣いを大事にした接客

私はコマースオペレーションという部門で、テーマパーク内のレストラン・お土産ショップなど合わせて4店舗の管理を行っています。食材・商品の発注、売上管理、社員やアルバイトの勤怠管理、人材育成などが主な仕事です。時間帯ごとの売れ行きやトレンドをもとにした商品の売り場での配置はまだまだ試行錯誤する毎日です。現場に出て、お客様(ゲスト)と接することも多く、自分の対応でお子様や保護者が笑顔になると元気をいただきます。ゲストに対しては、目線と言葉遣いを意識した接客を心

がけています。同じ目の高さで、わかりやすい言葉で話しかけるのが基本ですが、子供だからと言って幼児向けの表現を使うと中高学年の子供には不満を持たれてしまうので、年齢層に合わせた対応が大事です。仕事を進める中で、自分自身の成長はもちろんですが、自分の一言で後輩社員の成長が見られたときはいっそう嬉しくなります。

積極性と コミュニケーション能力を持とう

このお仕事には積極性のある方が向いていると思います。ゲストがいてこそそのサービスなので、初対面の方に対しても物怖じせず笑顔で自分から声をかけられる方がよいです。小さいお子様がメインのテーマパークではありますが、接する方は子供だけではなく家族、さらには祖父母といった三世代にわたることもあります。子供に対してだけうまく話せるのではダメで、広い世代の方とのコミュニケーション能力が必要とされます。また、お仕事に対してもチャレンジ精神は大事です。私も負けず嫌いなところがあるので、自分が同期の中で一番できることがあると上長に認めてもらえるように、

わからないことは何でも聞き、対処できる領域を常に増やして、スーパーバイザーという役割に就くことができました。

きっといい縁に巡り会える

私自身、教育実習をしながら就職活動を行うのが、大変でした。就職先がなかなか決まらないと不安に思うことも多いと思います。でも縁ってきっとあると思うんです。自分がいいなと思う会社に出会い、そして相手からも自分をいいなと思ってもらえるタイミングはいつかきます。自分ができると、自分とはこういう人間ですということを、伝え続けたら必ずいい方向にことが起こります。焦らずに頑張ってください。



非日常の体験をお届けすることが目標



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

営業開発

一人一人のお客様の課題解決へ導く
この仕事にやりがいを感じています



帝京大学 経済学部 経済学科 卒業

佐川急便株式会社

小巻 智彦さん

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 営業・マーケティング・企画開発・商品企画

関連業種： 物流管理 物流コンサルタント セールスドライバー

留学を経験し、
語学力を高められました

元々、留学に強い憧れがありました。社会人になる前に外国へ行ってみたいという思いがあり、大学に進学したら絶対に留学すると決めていました。しかし、進路選択時は大学を休学しなければならないと思っていたため、どのような方法で留学するか悩んでいました。帝京大学では、「交換留学」という形で留学ができ、そのまま単位取得も可能であったためとても魅力的だと感じ、進学しました。実際に留学したイングランドの半年間は、語学力を高められ、貴重な経験となりました。

佐川急便のイメージとは

「物流」という仕事は必要不可欠な事業です。この仕事を通して社会貢献出来るので



高校時代は元日以外の364日野球漬けだったため、進学については指定校推薦を活用しました。

はという思いがあり、就職先の候補にしました。その中でも、「佐川急便」というと、爽やかに街中を走っているイメージを持つ方がいるかと思います。私もその一人でした。高校3年間、野球をやっていたため体力には自信がありましたし、ゆくゆくは、海外にある拠点でも活躍の場を広げたいと思い、現職に就いています。

ドライバーの経験が活きる

私は現在、先進的ロジスティクス プロジェクトチーム「GOAL® (GO Advanced Logistics)」に所属しております。物流の課題解決という『ゴール』へお客さまと共に突き進むグループ横断型専門家集団を意味します。いま目の前にある課題の解決だけでなく、潜在的な課題まで敏感にキャッチしながら、物流の最適解の提案をミッションとしています。具体的なお客さまの一例として、インターネットのECサイトを運営されているお客様には、サイトのシステム構築や物流倉庫の管理から、輸送スキームの提案なども手掛けています。いわゆる物流に関するコンサルのような役割を担ってい

ます。営業開発部に就く前は、千代田区の集荷・配達業務並びに営業活動をしていました。その後現在の部署に配属されましたが、私自身は、この配達で培った経験が一番大事ではないかと考えています。物流についてのノウハウをしっかりと熟知していないと、お客さまに最適な提案を出来ないのではないと思うからです。実際、今もドライバー目線で物事を考え、提案することもありますので、自身の経験をしっかりと活かせています。

悩むことは
決して悪いことではない

皆さんは今、進路で悩んでいるかもしれません。ただ、その悩みは悪いことではないと思っています。ぜひ、自分自身の長所や短所を見つめ直す良い機会を与えられたと思って下さい。必ずしも「天職」を見つけ出さなければならないという訳ではありません。一度仕事をしてみて、自分自身で分析した結果、別の仕事に就くこともあると思います。しっかりと考え、自分なりの答えを見つけ出すことこそが重要なことだと思います。

出身大学



企業情報



先輩のインタビューをもっと見たい方は
アンビシャスWEBサイトへ!



人間性豊かにおもいやる心を持った医師でありたい

東京慈恵会医科大学

産婦人科学講座

(現在は厚生労働省 医政局 研究開発政策課に出向中)

<https://www.jikei.ac.jp/>

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>



東京慈恵会医科大学

医学部 医学科 卒業

細谷 聡史さん



大学職員(産婦人科)

関連キーワード 医療・産婦人科医 研究・行政

「生きる」を感じられる勉強

医師になりたいと思った理由は親戚に医師がいたこと、医師は医療と研究の両方ができることからです。医学部入学後、産婦人科の実習で初めてお産の現場を経験し感動しました。生命を扱う医療に改めて魅力を感じ、産婦人科医を目指すようになりました。医学部では座学から実習と、学ぶことがとても多くありました。しかし、医学は自分の体のことも含めて、勉強したものがまさに明日使える知識。私にとって医学の勉強は「生きる」を感じられるものでした。また得た知識は必ず患者さんの為になるという気持ちにさせてくれるものでした。

多様な視点で女性の人生を考える仕事

医師として様々な経験をしています。まず産婦人科医としての現場の仕事です。生命の誕生から生命が失われるところまで、女性の一生を診るという意味で責任を感じます。

次に不妊治療に関わる再生医療の研究です。治療法が無い不妊症を再生医療によりどうすれば治すことができるのか考えます。最後は行政の経験です。行政の立場から再生医療をどう発展させることができるかを考えます。医療現場から一歩引いて国の目線で医療を俯瞰的にみることができます。やっていること全ては患者さんのため。「多様な視点で女性の一生を診ていく。」ここにやりがいを感じます。

苦労を厭わない人 思いやりのある人

どのような人が医師に向いているかを考えたとき、苦労を厭わない方が向いていると言えます。もちろん勉強も最大限必要です。しかし勉強ができる、できないというよりは、分からないことを自ら調べて出来るようにしようとする向上心の方が大切だと感じます。また、人間性豊かな人であることもとても大事です。知識があるだけでは医師は務まりません。医療スタッフとのチー

ムワークを大切にしながら患者さんの気持ちを汲み取る仕事です。相手の立場になって対応できる、おもいやる心を持つことが医師には必要です。

人間性豊かな人となることを意識して

私にとって医師は天職です。診療するだけではなく、研究の道もあり、いろいろな勉強ができる、そして何よりも人の為になる仕事であると言えるからです。医学部はとても価値のある学部だと思います。しかし、医師になるために勉強だけをやってほしくありません。学校の部活動など、学生のうちに多くの経験を積み、友人や家族との思い出をたくさん作り、人間性豊かな人となってほしいと思います。私自身も中学から大学まで野球部でチームワークを経験したことで人間的に成長できたと思っています。人間性豊かな医師がたくさん世の中に出てきてほしいと思います。

AMBITIOUS #308

働く

東京慈恵会医科大学

東京慈恵会医科大学 建学の精神
「病気を診ずして病人を診よ」

[医学科入試係] 0570-053333





寄り添う
気持ち

「歩いて帰ろう」を医療の力と
コミュニケーションで実現する

東京都済生会中央病院

<https://www.saichu.jp/>



順天堂大学

保健医療学部 理学療法学科 卒業

山田 紗永さん

身体を動かしながら働く ための進路

私は小さい頃からスポーツが好きでした。水泳、剣道、バスケットボール。多くのスポーツをしながら過ごし、高校時代はバレーボール部に明け暮れました。デスクワークよりも体を動かす仕事がしたいと思っていた高校1年生。学校の先生から理学療法士という職業を教えてください、兄が通っていた順天堂大学の学部説明会に行きました。進学の手決め手は説明会にいた先生のコメントです。最前線の臨床で活躍している方々から、最新の医療知識が得られるという点が魅力的でした。実際に入学すると、学科の先生方とつながりのある専門分野で働く方々が講師として多く登壇し、現場の声を聞く機会に恵まれました。同時に1年次の基礎学習では初めての分野を一気に学ぶため、絵を活用したり、仲間と協力してもらわなければ先生に相談して乗り越えました。また、1年生からゼミがあり、グループ活動が盛んなことも順天堂大学の長です。少人数の活動なので発言し

やすく、学友と切磋琢磨できました。

手術後の大切な時期を サポートする

3年次の臨床実習で訪れた東京都済生会中央病院の、後輩から先輩へも話しやすそうな風通しの下さに惹かれました。同時に手術後の患者さんを診る急性期への関心が高まっていました。手術後は急激に筋力が落ちる患者さんが多く、ベッドの上で体を動かす、座り姿勢にするといった動作でも体内の循環を改善できます。急性期での経験はきっと将来も活かせると考えて急性期病棟のある東京都済生会中央病院への就職を決めました。

笑顔で患者を送り出す仕事

私は今は主に急性期の整形外科で、患者さんが歩いて自宅に帰ることをゴールとしたリハビリを行っています。もともと元気に歩いていた患者さんも、ベッドで過ごす時間が長くなるとトイレに行くにも大変なほど体力が低下してしまいます。コミュニケーションを取りながら目標を設定して、自力で歩けるようにリハビリを重ねます。日に日に患

者さんが動けるようになっていき、最後に「ありがとう」と伝えられるたび、この仕事をしてよかったと感じます。

探求心を持って全力で

理学療法士に向いている人は、探求心の旺盛な人だと思います。医療は日々進歩しており、先輩や現場から学ぶことも多くあります。また、学び続けるためには英語力が役立ちます。学生時代は留学に挑戦したり、論文を読むために、就職してからは外国籍の患者さんとコミュニケーションを取るために使います。過去の経験では、スポーツ経験があると怪我のイメージがわかりやすいでしょう。とはいえ高校時代は自由に遊べる時間です。勉強は目標を立てて行いながら、好きなことを全力で楽しんでみてください。



実習の場で知識だけではなく
実践的な技術、経験を身につける。

【代表】047-355-3111

@juntendo_nurse

juntendo_1838



順天堂大学医療看護学部
JUNTENDO UNIVERSITY FACULTY OF HEALTH CARE AND NURSING

AMBITIOUS

#309

働く

順天堂大学



現場に入って学ぶことで、大きな目標に具体的な目的ができた

高校の進路希望で 覚悟が決まった

私と看護師の出会いは小学校1年生。母が入院したときに、病棟で優しくしてくれた看護師さんに憧れました。憧れは変わらず、高校1年生の進路希望提出で看護師を志望。中学時代は部活のテニスに全力だったので、成績は足りませんでした。そこで担任の先生に「私、変わりたいんです!」と申し出て勉強のやり方から教えてもらいました。

活発に動き回る人が多い環境

私が順天堂大学を目指した理由は、オープンキャンパスで学生がとても活発に活動していたこと、先端医療

に注力していることです。そのイメージは大学に入って確信に変わりました。活発な友人からの刺激と、暇に耐えられない性格が相まって、今はテニス部と陸上部を掛け持ちしながらアルバイトもこなしています。授業では「最近の医療だと…」と最新情報がどんどん入ってくるので、フレッシュな気持ちで学ぶことができます。

最後の砦 「三次救急」に関わりたい

看護学部の実習では、病棟などの現場で研修します。実習に出ると、座学やロールプレイではできていたことが急にできなくなることもしばしば。2年間の間に座学や実習で様々な現場を知り、私が特に関心

を持ったのが三次救急です。三次救急は救急医療の最後の砦。一次救急、二次救急では処置できない患者さんに対応します。大変な現場だと思いますが、私の性格に合っていると思います。順天堂大学浦安病院の三次救急が今の第一志望です。

外圧に負けないで

私が最初に看護師を目指すと言ったとき、両親は反対しました。でも私は意地を通して看護師の道に向けて進んでいます。私は後悔していないので、高校生のみなさんも後悔のないよう、やりたいことへ突き進んでほしいです。

この業界・
仕事を
目指す
大学生に
聞く!

学ぶ

順天堂大学



安心・安全で質の高い看護を提供し、
高度先進医療の一翼を担う看護職者の育成

順天堂大学 医療看護学部

竹内 彩華さん 2年(取材時)

@juntendo_nurse

juntendo_1838

【代表】047-355-3111



今はまだ分からなくても、夢や目標が見えてくる

夢のきっかけは、 世界の医療事情を知ったこと

幼稚園児の頃、通院先で接してくれた看護師さんのやさしさに触れて、将来は自分も看護師になって、周りの人を助けたいと思っていました。その後、はっきりと国際看護師になろうと決めたのは、小学生の時です。通っていたインターナショナルスクールの授業で、世界には、飢餓や免疫力の低下が引き起こす合併症などで、命を落とす子供たちがたくさんいることを知りました。その姿を映像で見た時の衝撃は、今でも鮮明に覚えています。寄り添い、助けられるようになるために、国際看護師を目指すことにしました。

夢を叶えるために、 この大学で学びたいと思った

看護師になるには、大学で学ぼうか専門学校や短大で学ぼうかという道もあります。いろいろ調べる中で、東京都立大学は、国際看護に関するカリキュラムや海外研修などの体制が整っている数少ない学舎であることを知り、進学先に決めました。また、助産師の資格も取りたいと考えていたので、その専攻科があるというのも魅力でした。一緒に学ぶ同期はみんな仲が良く、刺激をもらっています。看護師は、技術や知識はもちろんのこと、人に寄り添う「人間力」も大事なことだと思うので、この大学でいろいろな考え方や視点に触れ

て、自分の視野も広がっています。

やりたいことを叶えるには、 諦めず行動し続けること

高校生の時、私はやりたいことがたくさんあって、その一つ一つに挑戦していました。最初は、心ない言葉を言われることもありましたが、諦めずにやり続けることで周りの協力や理解を得ることができ、楽しくできるようになった経験をしました。叶えたい夢があれば、たとえ誰かに何かを言われても、自分を信じて挑戦し続けてほしいです。もし夢がまだわからないという人も、誰かの夢が叶うよう応援しながら共に行動することで、自分の夢や目標が見えてくると思います。

この業界・
仕事を
目指す
大学生に
聞く!

学ぶ

東京都立大学



夢を叶えるために
必要なことを全て学べる

東京都立大学 健康福祉学部 看護学科

杉山 未羽さん 1年(取材時)

東京都立大学総合ホームページ <https://www.tmu.ac.jp/>

@TMU_PR





経験から
自分らしさを追求する

チームで一丸となって、
患者の希望を叶える

北里大学病院

<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/nurse/>



北里大学
看護学部 看護学科 卒業
都立西高校出身
嶋田 恵芽史耶(えめりや) さん

看護師に救われた祖母を見た

私はもともと病院に通うことが多く、医療職への憧れは小さい頃から持っていました。決め手になったのは高校時代に見た祖母の入院。体を悪くして入院すれば心細くなります。そんなとき、病棟の看護師に優しく看護されていた祖母がメンタル面でとても救われている姿を見ました。「私も看護師になりたい。」将来の目標が定まり、大学を選び始めました。大学選びの条件として最初に考えていたのは総合大学であること。医師や卒業生など、様々な医療従事者の話が聞けることは総合大学の利点だと考えていました。数ある総合大学の中でも北里大学を選んだのは、留学プログラムが用意されていたからです。海外の看護を見ることで見聞を広めたいと思っていた私の好奇心にマッチしました。

大学内外にわたる
手厚いサポート

大学での学びは留学に授業、実習と盛りだくさんでした。2年生のとき、かねてより志望していた留学プログラム

に参加しました。行き先はUCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)。アメリカには専門的な行為を行う看護師も多くいます。たとえば麻酔は日本では医師の仕事ですが、アメリカでは看護師が行うことも。日本にも特定行為研修は持ち込まれていて、北里大学では積極的に研修が進められています。一番印象に残っている北里大学での学びは、元から関心のあった急性期の実習です。急性期病棟は手術前後の患者さんをケアする部門。患者さんの抱える不安に深くアプローチする経験ができました。実習先は北里病院が多く、医師や大学のサポートが手厚かったことを覚えています。

チームとして、
リーダーとして働く

私は北里大学病院の消化器外科病棟に勤めています。誰も手術は不安なものです。術前は患者さんが自身の準備を整えて手術に臨めるようにサポートします。術後は心肺などの状態が大きく変動するので、観察とケアを欠かしません。「術後」は続きます。合併症を防ぐためにリハビリ

をサポートしたり、経過が思わしくなく、気分が落ち込んでしまった患者さんをチーム医療でサポートします。

重い責任と大きなやりがい

患者さんの「家に帰りたい」という希望を叶えられたときは嬉しいですね。日常生活の動作が難しい患者さんでも家に帰れるよう、どうすればいいのか、何が必要なのかなど、院内のあらゆる知識を動員します。北里大学病院では医療従事者同士の横の連携を密に取れていることが特徴です。看護師の中にも多くの専門性を持った看護師がいるので、患者さんにとってより良いケアに繋がられます。

色々な現場を見てみて!

高校生の時点で看護師に興味があるのであれば、ぜひ大学など、現場に足を運んでみてください。学生や働いている人の様子を見ることで「想像と違う…」と思うかもしれませんが、それでもOKです。視野が広がれば、自分が本当にやりたいことに一歩近づけるでしょう。

北里大学を卒業した先輩が携わる最先端医療の現場



刻々と変わる患者さんの体調をモニタリング。最近ではリーダーとして、他の看護師をまとめる役割も受け持ちます。心のケアも看護師の大切な仕事です。

AMBITIOUS
#310

この大学で仲間と切磋琢磨したい!

高校の進路希望で
覚悟が決まった

高校生のときに祖母が倒れました。私は何もできず、無力感と悔しさが込み上げてきました。「これからは大切な人に何か起きたとき、私が守る。」医療の道に進むことを決めました。看護師を選んだのは患者さんとの距離が一番近い仕事だから。患者さんに寄り添ってケアができる仕事を選びました。

明るい大学で
チーム医療に触れた

大学選びのオープンキャンパス巡りで北里大学のキャンパスツアーに参加。実際に実習で使う設備などを案内してくれた学生さんがとても元

気で、人柄に惹かれました。「ここで仲間と切磋琢磨したい。」北里大学を志望しました。入学後、2年生の実習先は地域包括支援センター。糖尿病の患者さんが栄養について学ぶサポートを行ったり、栄養士のアドバイスを受けてつ家族向けに栄養指導の資料を作ったりしました。それは憧れのチーム医療に触れる経験でした。

チームで子どもと向き合いたい

目指しているのは小児科です。子どもは心も体も未発達。病気と向き合うこと自体が難しいこともあります。私は大人とは違うアプローチが必要な小児科に興味を持ちました。

医療従事者全員で患者さんと向き合うチーム医療を通して、看護師の立場から貢献したいと思っています。また、実習中に看護師を信頼して笑顔で話す患者さんを見ました。「私も安心して命を託してもらえよう看護師になりたい。」看護師は学ぶことや知るべきことが多く、今は勉強一本で頑張っています!

誰かのため、と考えてみて

まだ目標が決まらない人もいるかと思っています。そんなときは、誰かのために、自分に何ができるのかを考えてみると視野が広がるでしょう。強い目標ができれば、壁にぶつかっても前に進めます。

この業界・
仕事を
目指す
大学生に
聞く!

学ぶ

北里大学



働く

北里大学



日々進化する医療に対応し
先頭に立って活躍する看護師を育成

【入学センター】042-778-9760

@Kitasato_PR

@KitasatoUniv



あのときの悔しさをバネに、
チームで人を守る看護師になりたい

北里大学 看護学部 看護学科
都立小松川高校出身 嶋田 みのりさん 2年(取材時)

